

## アジア域内コンテナ指数は9カ月ぶりの安値

[FreshPlaza 2025年8月15日](#)

### アジア域内コンテナ指数 8月15日:

8月前半のドリュエリー社アジア域内コンテナ指数(IACI)は9%下落し、40フィートコンテナ当たり(以下同じ)592米ドルとなり、2024年11月以来の最低水準となった。この指数は現在、2024年8月に比べて35%低い。ドリュエリー社は、8月後半は運賃が安定すると予想している。

IACIは、アジア域内の18の主要な貿易航路のスポットレート加重平均である。これらの航路の実際のスポットコンテナ運賃について報告し、隔週で更新される。この指数は、18の個々の航路ごとの固有の指数と総合指数で構成されている。すべての運賃は、40フィートコンテナ当たりの米ドルで報告される。

市場運賃データが収集される航路は、以下のとおり:

釜山(韓国)-上海(中国)、ホーチミンシティ(ベトナム)-上海、ジャカルタ(インドネシア)-上海、ジャワハルラールネルー港(インド)-上海、高雄(台湾)-上海、レムチャバン(タイ)-上海、上海-釜山、上海-ホーチミンシティ、上海-ジャカルタ、上海-ジャワハルラールネルー港、上海-ジェベルアリ(アラブ首長国連邦)、上海-高雄、上海-レムチャバン、上海-マニラ(フィリピン)、上海-シンガポール、上海-タンジュンペレパス(マレーシア)、上海-横浜、横浜-上海。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)

## (関連記事) 世界コンテナ指数は3%下落

[FreshPlaza 2025年8月15日](#)

### 世界コンテナ指数 8月14日:

ドリュエリー社世界コンテナ指数は3%下落し、40フィートコンテナ当たり2,350米ドルに

ドリュエリー社の世界コンテナ指数(WCI)は9週連続で下落しているが、変動の大きい期間を経て安定の兆しを見せている。この不安定さは、4月に米国の関税が発表された後に始まり、5月から6月初旬にかけて運賃が急上昇した。その後、7月中旬まで急激な減少が続き、それ以降は減少率が大幅に鈍化した。

今週は太平洋横断航路のスポット運賃が下落し、上海-ロサンゼルスが2%安の2,494ドル(40フィートコンテナ当たり。以下同じ)であり、上海-ニューヨークは5%安の3,638ドルとなった。関税引き上げに先立っての貨物の出荷ラッシュが終わり、ドリュエリー社は来週はスポット運賃の変動が縮小すると予想している。

ドリュエリー社のコンテナ予想によれば、2025年後半には需給バランスが再び弱まり、スポットレート of のさらなる低下につながると予測されている。将来の運賃の変動の規模及びタイミングは、トランプ政権下の米国が課す可能性のある新たな関税、及び予定されている中国船舶に対する米国の課金に関連する輸送能力の変動に左右されるが、いずれも依然として不透明である。

(翻訳は情報の提供を目的としており、特定の企業や製品を推奨するものではありません。)